

安全報告書 2012



1 ゆりかもめ [安全報告書2012] 発行にあたって

いつも「ゆりかもめ」をご利用いただき、ありがとうございます。

東京の中心部と臨海副都心地域を結ぶ「ゆりかもめ」は、平成7年11月に開業して以来17年目を迎えています。この間、臨海地域の開発整備の進捗に合わせ、通勤・通学のお客様のみならず、広く国内外の観光客の皆様など、一日当たり約10万人の方々にご利用いただく公共交通機関として成長してまいりました。

昨年の東日本大震災では、車両等設備の損傷、地震発生翌日にわたる運休だけでなく、その後のお客様の急激な減少、夏季の電力使用抑制など極めて厳しい試練を経験しましたが、今年になって新たな商業施設の開設等もあり、震災前の状況に近い回復を示しております。これからも、近隣の各機関、企業等と力を合わせて我が国の復興の一翼となれますよう、全力を尽してまいります。

公共交通機関である弊社といたしましては、安全の確保、安全性の向上が最重要課題であります。これまでも、日々の保守点検、改修・改良作業に努めるとともに、本報告書にあるように組織的かつ計画的に各般の施策を講じてきましたが、昨年の大震災の教訓を踏まえた実践的訓練の充実や長期間を見据えた車両更新等、さらなる取組みを進めてまいります。

この報告書は、鉄道事業法に基づいて、輸送の安全を確保するために弊社が取組んだ23年度の実績とともに、24年度に重点的に取組む施策等をまとめ、広く皆様にご理解をいただくために作成したものです。安全管理の一層の充実を図っていくため、ご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。

株式会社ゆりかもめ 代表取締役社長 有留武司

2 安全方針

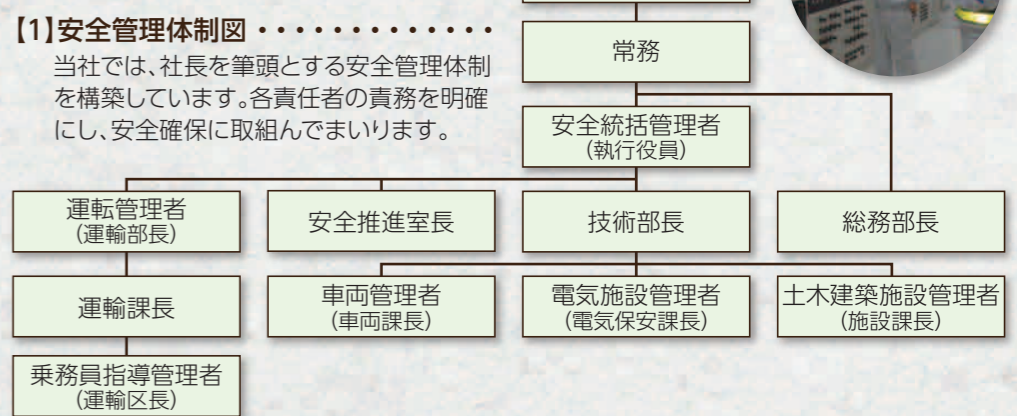
当社では、「安全方針」を次のように掲げ、社員全員に周知・徹底しています。

ゆりかもめ安全方針
 私たちは、お客様の安全を最優先に一致協力して、災害に強く、事故のない「新交通ゆりかもめ」をめざします。

このため、

- 日々、法令・規程を遵守し、忠実に職務を遂行します。
- 情報を迅速かつ正確に伝えて共有化し、事故の芽を摘むことに努めます。
- 常に安全に対する問題意識を持ち、必要な改善に取り組みます。
- 事故・災害等の発生時は、人命救助を最優先に行動します。

3 当社の安全管理体制



[2]役職と責務

社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う
安全統括管理者	輸送の安全確保に関する業務を統括する
安全推進室長	安全統括管理者の指揮の下、事故防止に関する事項を統括する
総務部長	安全統括管理者と連携し、輸送の安全の確保に必要な設備投資、財務、人材に関する事項を統括する
運輸管理者	安全統括管理者の指揮の下、運輸に関する事項を統括する
乗務員指導管理者	運輸管理者の指揮の下、動力者操縦者の資質保持に関する事項を管理する
土木建築施設管理者	安全統括管理者の指揮の下、土木・建築施設に関する事項を統括する
電気施設管理者	安全統括管理者の指揮の下、電気施設に関する事項を統括する
車両管理者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する

[3]保安対策委員会

ゆりかもめの運行における運転事故・災害事故防止対策及び保安対策のための安全管理体制を確立し、安全管理意識の徹底を図ることを目的とし、社長、役員、管理職及び現場長をメンバーとした保安対策委員会を年5回開催しています。



駅文様について

ゆりかもめの各駅には、それぞれ異なる文様がデザインされています。この文様は日本古来の伝統文様を用いたものです。駅ごとに特色をつけると同時に、近代建築物に日本古来の伝統文様を用いることで、心の和む駅となることを期待しています。

<p>新橋 Shimbashi</p> <p>柳編 (やなぎしま) 新橋色・しんばしいろ 日本の鉄道記号新橋駅。地名駅名のもとになった「新橋」のたもとに編まれた柳から。</p>	<p>汐留 Shiodome</p> <p>葦 (あし) 新橋色・うごんいろ 江戸屋外堀と海を仕切る堤防が、大層な葦の葉を並べている。葦は水辺の植物。</p>	<p>竹芝 Takeshiba</p> <p>鱗 (うろこ) 新橋色・てつごんいろ シンプリだが洗練された文様。日本には古くから「鱗」として使われていた。水辺の魚の鱗の意。</p>	<p>日の出 Hinode</p> <p>日足散らし (ひあしちらし) 新橋色・あけいろ 太陽をかけたような様子が、それぞれの色が海岸線、様々な海の幸や植物を想わせた文様を思わせる。</p>	<p>芝浦ふ頭 Shibauro-futo</p> <p>露草 (つゆぐさ) 新橋色・あせいろ 水辺の草花をイメージした文様。芝浦の自然を表現している。</p>	<p>お台場海浜公園 Odaba-kashin</p> <p>老松 (おいまつ) 新橋色・まついろ 約140年を過ぎた老松。都心自然と歴史に同時に触れることができるこの地には、今も変わらない海がある。</p>	<p>台場 Daiba</p> <p>大波 (おおなみ) 新橋色・なみいろ 国際的な観光地となった台場。都市自然と歴史に同時に触れることができるこの地には、今も変わらない海がある。</p>	<p>船の科学館 Funesho-kagaku</p> <p>帆掛舟 (ほかけぶね) 新橋色・ふねいろ 海老茶色・さびいろ 「宝船」は、初めは米俵や宝物を積んだ「荷掛船」をさせていた。七福神が描かれるようになったのは後のこと。</p>	<p>テレコムセンター Telecom Center</p> <p>編組 (こもり) 新橋色・こもりいろ 編組が超音波を使う様子。国際的な観光地となった台場。都市自然と歴史に同時に触れることができるこの地には、今も変わらない海がある。</p>	<p>青海 Aomi</p> <p>青海波 (せいはいは) 新橋色・あいらいろ 地名「青海」より。波をなぞる文様。海をイメージしたもので古くから使われてきた。</p>	<p>国際展示場正門 Kokusai-tenjijo</p> <p>桜 (さくら) 新橋色・さくらいろ 桜の花びらをイメージした文様。国際展示場の元気があふれるように、桜の花びらをイメージしてデザインされている。</p>	<p>有明 Ariake</p> <p>獅子 (しし) 新橋色・ししいろ 想像上の獅子の文様。獅子の文様は、火を退ける力があるとして、火災を防止する花・板がデザインされている。地域の発展を願っている。</p>	<p>市場前 Shijomae</p> <p>変り餅に置 (かへりもちにま) 新橋色・もちいろ 「だまし餅」のような楽しい餅。たくさんのお客さんが、餅を食べてくれるように、餅をイメージしてデザインされている。</p>	<p>新豊洲 Shim-Toyosu</p> <p>算盤縞 (そろばんじま) 新橋色・そろばんいろ 計算機の元気があふれるように、算盤の文様をイメージしてデザインされている。</p>	<p>豊洲 Toyosu</p> <p>水に雨 (みづにあま) 新橋色・みづいろ 雨は雲から降る。水は、豊洲の発展を願っているように、水辺の意を込めてデザインされている。</p>
--	---	--	---	--	--	--	---	---	---	--	--	--	---	---

4 平成23年度事故・輸送障害等の概要

[1] 運転事故

運転事故の発生はありませんでした。

[2] 輸送障害(30分以上の遅延や運休)

輸送障害は、信号保安設備故障が1件、車両故障が3件、自然災害が3件の合計7件発生致しました。お客様に特に影響の大きかったのは次の4件でした。ご利用のお客様には大変ご迷惑をおかけしました。

- 平成23年7月 7日 信号保安設備の故障により遅れと運休が発生しました。
- 平成23年9月21日 台風15号上陸により約4時間にわたり運転を見合わせました。
- 平成23年9月28日 車両の故障により遅れと運休が発生しました。
- 平成24年2月29日 降雪による間引き運転により遅れと運休が発生しました。

[3] インシデント(事故の兆候)

事故の兆候であるインシデントはありませんでした。

5 輸送の安全確保のための取組み

[1] 安全重点施策

平成24年度の安全重点施策を次のとおり定めて取り組んでいます。

区分	平成24年度目標
安全の確保	動力車操縦者運転免許所持者が緊急時に対応するため、月2回の手動運転及び本線・出入庫線を含む2回の運転技能確認を確実に実施し、教育訓練の充実を図る 異常時総合訓練および各種教育訓練を実施し、事故・災害発生時の早期運転再開に向けた対応力を強化する
走行路およびポイントの保全	芝浦ふ頭駅からお台場海浜公園駅間の走行路を補修する 本線のポイント部品52個のうち20個の取替えを実施する
保安設備の機能維持	ケーブル絶縁診断の結果に基づき、劣化したケーブルを更新する 新規に導入するデジタル列車無線装置の機器製作および設置工事を実施する
安全・安定輸送の確保	対象車両全11編成のうち、2編成の保安装置等を更新する 新造車両を1編成搬入する 公共交通機関としての使命に基づき使用電力の抑制に努め、電力使用制限令発令時に備えて電力抑制ダイヤを作成する

平成23年度の安全重点施策は次のとおり取り組みました。

区分	内容
安全の確保	3人が動力車操縦者運転免許を取得した 地震に対応する訓練などにより実践的な訓練を実施し、異常時対応の全体的なレベルアップを図った
走行路およびポイントの保全	芝浦ふ頭駅から青海駅間の走行路を補修した 本線のポイント部品52個のうち32個の取替えを実施した
保安設備の機能維持	ケーブル絶縁診断の結果により劣化が確認されたレインボーブリッジの一部区間のケーブルを更新した デジタル列車無線装置の製作仕様を決定し、各機器設置場所の詳細設計を実施した
障害復旧時間の短縮	電車線短絡、地絡事故を想定した訓練を実施した 電力不足を想定した設備の停電復電訓練を実施した ポイント故障を想定した復旧訓練を実施した
安全・安定輸送の確保	対象車両11編成のうち、2編成の保安装置を更新した 新造車両の詳細設計を進めた



[2] 異常時総合訓練

長時間の停電時にお客様の安全を最優先としながら早期復旧を図ることを目的とし、非常用発電機を稼働させレインボーブリッジ上で停止した列車を最寄り駅まで運転する訓練を実施しました。あわせて復電後の運転再開に向けた対応訓練を実施しました。



[3] 駅間停止列車対応訓練

地震等により駅間で列車が停止してしまった場合を想定し、お客様を最寄り駅まで徒歩で誘導するために、車両前面の非常扉を開放し避難誘導を行う訓練を実施しました。



[4] 教育訓練の充実

◇ポイント取扱い訓練

障害発生時に迅速に対応できるよう、ポイントの構造や重点確認箇所、手動での取扱い方法について運輸区職員を対象にした教育訓練を実施しています。



◇連動装置取扱い訓練

自動運転をしているゆりかもめでは、ポイントの転換や信号の制御も自動で行っています。これらが故障した際に手動で設定しなければならないために、運輸区と電気区の合同にて取扱い訓練を実施しています。



◇車両併結解放訓練

車両が自走不能になった場合、他の列車を併結して車庫まで回送する状況に備え、列車同士を併結する訓練を実施しています。



[5] 安全のための支出

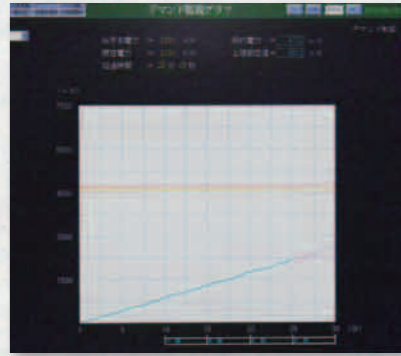
平成23年度は、安全の維持・向上のため、総額31億円を設備や施設・車両の更新工事、修繕、保守管理等に充てました。

6 節電への取組み

夏季における電力供給の逼迫を背景に、想定される最大使用電力の15%削減を達成するため、お客様の安全確保を最優先に法令等を遵守し、節電効果の大きいものから優先的に、かつ速やかに取組みました。

① 電力抑制ダイヤの実施

電力使用制限に対応するため、お客様の需要を考慮しながら弾力的に列車本数を調整し運行しました。



② デマンド監視装置

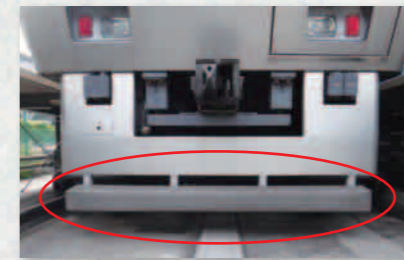
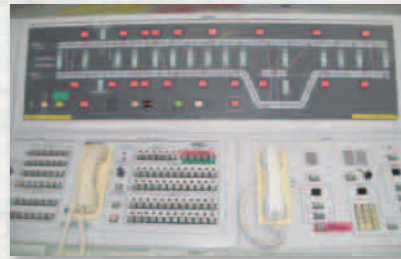
デマンド監視装置とは使用している電力量を常時監視しているものです。あらかじめ設定した限度値に対して現在の使用量から今後の使用電力量を予測します。予測値が使用電力の設定値を超過する恐れがある場合には警報により警告され、使用電力の抑制を促します。

7 ゆりかもめの安全を支える設備

ゆりかもめはATO(自動列車運転装置)を中心とするコンピュータシステムによる自動運転を行っており、ATC(自動列車制御装置)により安全な運行を確保しております。その他、次のような設備等によりお客様の安全を確保しております。

◇非常発報盤

震度5弱以上の地震発生時や列車の危険等を検知したときに、自動的に列車の非常停止及び架線への送電を停止し安全を確保します。また、係員が危険を発見した場合は、非常発報ボタンを押下することにより手動で動作させることもできます。



◇接触検知装置

車両前面の下部にあるものが接触検知装置です。接触検知装置に物が当たると、センサーで接触を検知し、車両の非常ブレーキを動作させます。これにより、車両をすみやかに停止させ、安全を確保します。



◇支障物侵入防止フェンス

レインボーブリッジはゆりかもめと道路が並走しています。線路内への大きな障害物の侵入を防止するためにフェンスを設置しています。



お客様へのお願い

ゆりかもめは自動運転をしています。閉まりかけた扉への無理な乗車は、危険ですとおやめください。今後とも安全運行に向けて、お客様のご協力をお願いいたします。

お問い合わせ

この安全報告書や当社の安全への取組みに対するご意見・ご感想をお寄せください。

株式会社ゆりかもめ 総務部 総務課

TEL 03-3529-7777 [代] 9:00~17:30(土日・祝日・年末年始を除く)

FAX 03-3529-7770

URL <http://www.yurikamome.co.jp>

